

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りがな

/5

四 熟語の構成

/5

五 部首

/4

六 対義語

/5

七 書き取り

/14

合計

/49

合格のめやす

35問(7割)

一

線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 出かける支度をする。

したく

② テレビを見る。

みる

③ 基本をまなぶ。

きほん

④ 園芸がしゅみです。

えんげい

⑤ この門は鉄でできている。

てつ

⑥ 老人にせきをゆずる。

ろうじん

⑦ 昔、小さな村におじいさんがいました。

むかし

⑧ すきな色は青です。

いろ

⑨ だいたいな要素を考える。

ようそ

⑩ 保育えんに通う。

ほいく

⑪ 先生が黒ばんの字を指す。

さす

⑫ 夏休みのしゅくだいをする。

なつやすみ

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 逆

9

画

② 女

3

画

③ 豆

7

画

④ 入

2

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① 黒ばんの字をノートにうつす。

写す

② 花だんにチューリップをうえる。

植える

③ ピンでかみをとめる。

留める

④ 荷物をトラックにつむ。

積む

⑤ 駅で友だちとわかれる。

別れる

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア～エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの（れい 岩石）

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの（れい 左右）

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの（れい 青空）

エ 下の漢字が「ゝを」「ゝに」にあたるもの（れい 読書）

① 最低

ウ

② 師弟

イ

③ 消毒

エ

④ 有無

イ

⑤ 修理

ア

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)

休

やす
む

糸

(いとへん)

①

給

きゅう

食

②

続

つづ

く

金

(かねへん)

③

手

かがみ

鏡

④

記

ろく

録

六

反対の意味の言葉を、「」から
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「げんぜい かんせつ とうぜん げんいん
さんせい」

①

直接 ⇄

間

接

②

増税 ⇄

減

税

③

結果 ⇄

原

因

④

反対 ⇄

賛

成

⑤

意外 ⇄

当

然

七

—線のことばを、漢字で書きましよう。

① がつきゆう会で話し合った。

学級

② おうさまはおしろにいる。

王

③ 父が車をしゃこに入れた。

車庫

④ 大きなゆめをもつ。

夢

⑤ 図書室でししゅうを読んだ。

詩集

⑥ 天気がわるいので、外に出られない。

悪

⑦ 先生のしつもんにこたえる。

答

⑧ いけんをのべる。

述

⑨ 夏休みがもうすぐおわる。

終

⑩ まきばでうしが草をたべる。

牛

⑪ まいにち花に水をやる。

毎日

⑫ となりのけんへ家ぞくで行った。

県

⑬ 新しいせいきがはじまる。

世紀

⑭ 花のたねからめが出た。

芽

